

アクセスのご案内

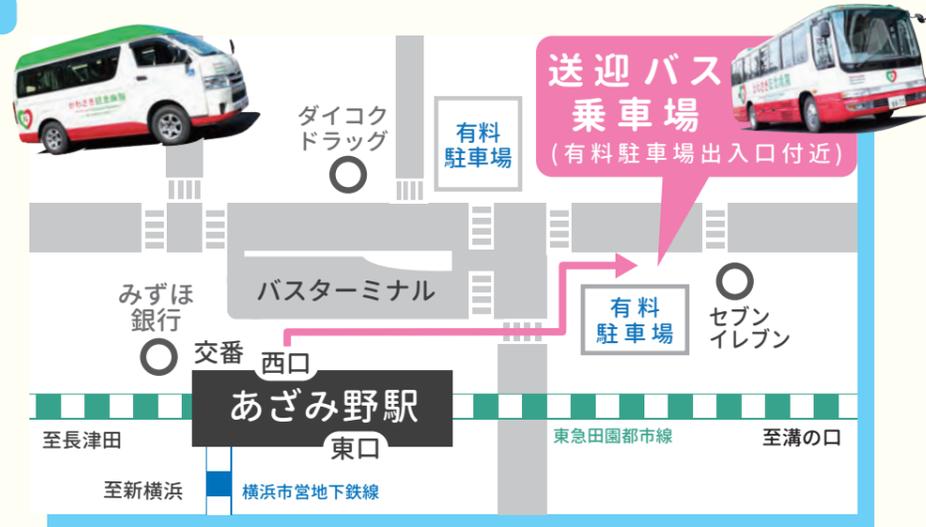
電車・バスをご利用の場合

- 東急田園都市線 「新百合ヶ丘駅行」 【かわさき記念病院前】 バス停 徒歩1分
 たまプラーザ駅 「美しが丘西行」 【美しが丘西（終点）】 バス停徒歩3分
 ※その他、あざみ野駅からもご利用になれます。
- 小田急線 新百合ヶ丘駅 「たまプラーザ駅行」 【潮見台】バス停 徒歩1分
 ※その他、柿生駅、生田駅からもご利用になれます。



送迎車をご利用の場合

あざみ野駅発	時刻	病院前発
	30	6
25	55	7 10 40
	40	8 25
	30	9 15 45
00	30	10 15 50
05	45	11 30
	20	12 05 50
05	40	13 25
	25	14 10 45
00	30	15 15 50
05	35	16 20
		17 45
05	35	18 20
	35	19 15
	20	20 00 45



■ 枠はワゴンにて運行、黒数字はバスにて運行 (※) 印は土曜日はバスにて運行 道路状況により予定通りの時刻で運行できない場合があります。

車をご利用の場合

かわさき記念病院 施設外観



受付時間 / お問い合わせ

平日 9:00 ~ 17:00 土曜 9:00 ~ 12:00

医療法人三星会
かわさき記念病院



〒216-0013 川崎市宮前区潮見台 20-1
 専用ダイヤル：044-977-3100 FAX：044-977-3105
<https://www.kkh.ne.jp> Email：info@kkh.ne.jp
 左記のQRコードより、かわさき記念病院のホームページからでも認知症疾患医療センターのご紹介をしております。

認知症疾患医療センター

- 専門の医療相談
- 認知症の鑑別診断
- 行動・心理症状（BPSD）への対応
- 講演会、研修会の企画
- 地域の関係機関とのネットワークづくり



Kawasaki Memorial Hospital

指定を受けました。
 認知症疾患医療センターの
 かわさき記念病院は川崎市から
 令和3年8月より





かわさき記念病院のご紹介

院長 福井 俊哉

かわさき記念病院は、川崎市宮前区にて2014年に開院した、川崎市初めての認知症専門病院です。

私たちの使命は認知症を正しく診断して適切な治療を導入すること、認知症の経過中に発生する諸問題に迅速に対処すること、また、地域活動を通して認知症患者さんを取り巻く様々な方々の支援を行うことであり、具体的には当院の活動は「外来・入院・家族支援」の3本柱で成り立っております。

外来では、認知症や軽度認知障害の早期診断、進行予防に関する生活指導、認知症薬物治療を行います。「認知症による行動・心理症状（BPSD）」も軽度～中等度の間は外来で対処いたします。一方、BPSDが高度になった場合や認知症による身体症状が発症して家庭や施設では対処困難になった場合には入院治療を行います。入院加療に関する理念は、厚生労働省が提示した「新オレンジプラン」の考え方、つまり、認知症にまつわる急性症状を速やかに治療し、早期に元の環境（自宅・施設）に良い状態で戻って頂けること、に基づいています。当院には脳神経内科医と精神科医が常勤しており、認知症とともに身体的合併症が問題となる場合は神経内科医が、BPSDが主たる問題点の場合は精神科医が対応いたします。「認知症をお持ちのご高齢者」のケアに対応できると自負しております。最後に、外来・入院とは別に、患者さんご本人・ご家族の支援を目的として、精神保健福祉士や公認心理師などが対応する専門の医療相談、認知症カフェ、家族会、家族介護者教室などがあります。以上より、「かわさき記念病院を受診して良かった、ここで働いて良かったと思われる温かい病院を通して地域の認知症治療に貢献します」を当院の理念に掲げ、ご利用者のみならず職員にも満足のいく病院であり続けるために日々精進しております。

こんなことに困っていませんか？

ご自身で

- ☑ 以前と比べ、忘れっぽくなった
- ☑ しまい忘れや置き忘れが増えた
- ☑ 認知症ではないかと心配している



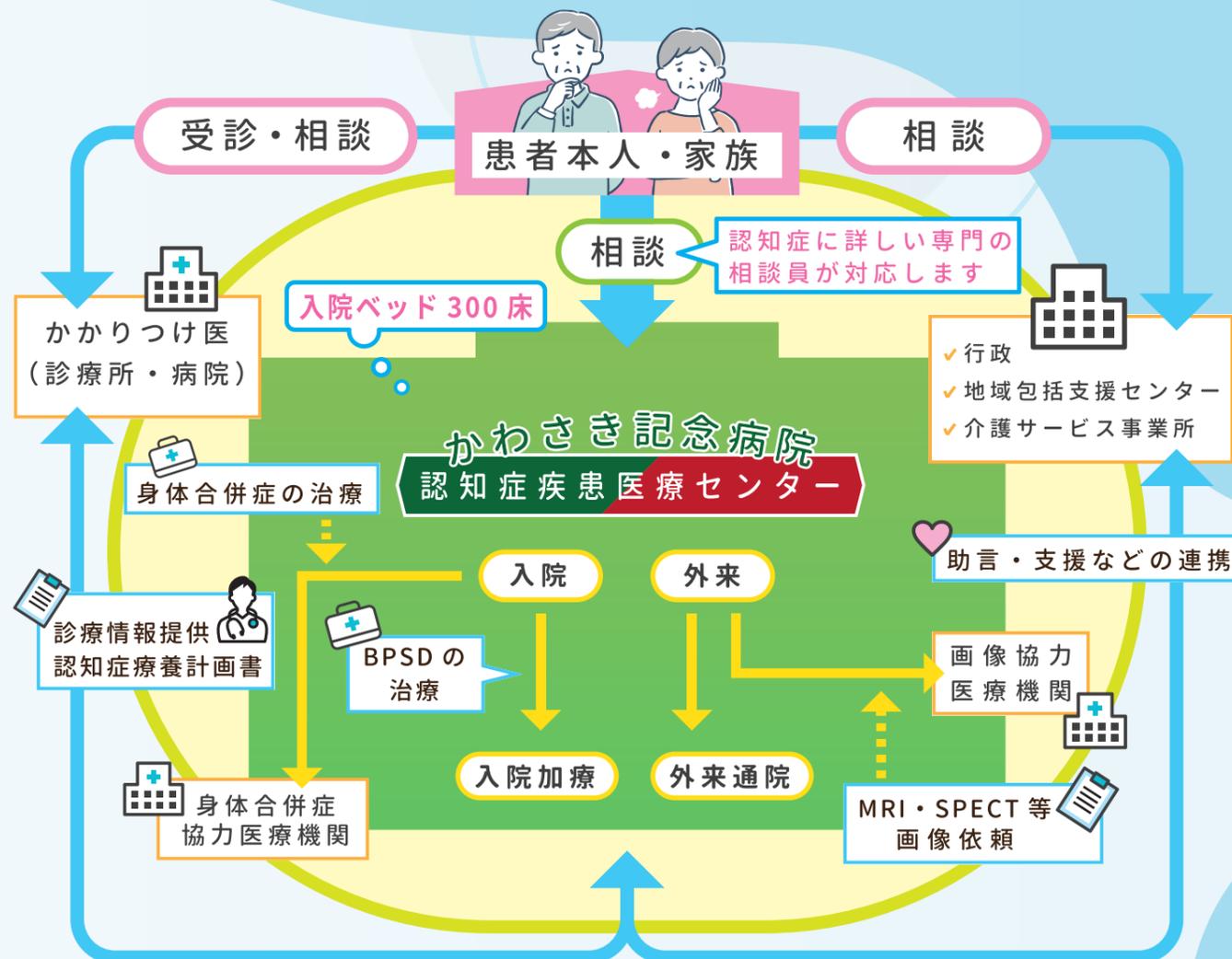
ご家族から

- ☑ 同じ話を繰り返すことが増えた
- ☑ 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う
- ☑ 最近、怒りっぽくなった
- ☑ 慣れた場所で迷子になった
- ☑ あるはずのないものが見えると話している
- ☑ 認知症では？と思うが本人が受診を拒否している



支援者へ

- ☑ 認知症の鑑別診断を依頼したい
- ☑ 在宅や施設での認知症ケアのコツを知りたい
- ☑ 認知症について学びたい
- ☑ 個別支援について相談したい



認知症疾患医療センター長よりご挨拶



当院は従来より専門病院として認知症の診断・治療・介護サポートを行ってまいりましたが、2021年8月、地域の認知症に関する医療体制の中核として川崎市から認知症疾患医療センターの指定をいただきました。日本が高齢社会になって久しい中、認知症を有する高齢者数も増加の一途をたどっています。特に、高齢者夫婦だけの世帯や高齢者単身世帯、認知症の方が認知症の配偶者を介護する認知世帯などが増えてきており、認知症の方を柔軟に地域で支えていく仕組みを作っていくことが社会的に重要な課題となっております。

当院は認知症の診療や介護に関して、地域の病院やかかりつけ医の先生方、介護施設やケアマネージャーとも緊密かつ円滑な連携がとれるよう活動しておりますが、地域住民の皆様にも認知症のことを知っていただけるように、研修会などを通して情報提供活動をしています。私たちは認知症になっても「ひとりひとりがその人らしく」暮らすことができる地域社会が訪れるよう願っております。認知症疾患医療センターは、認知症の診断・治療に関するご相談はもちろんのこと、認知症のご本人とご家族が住み慣れた地域で安心して暮らしていただくことを目標として、スタッフ一同お手伝いをさせていただきます。お気軽にご相談いただけましたら幸いです。

副院長 長濱 康弘